

「どうぶつカード」を作ろう

東大阪市立布施小学校

教科

国語

単元名

しらべたことを分かりやすく書く

本時のねらい

- ・「どうぶつカード」を作るために、調べたことを整理することができる

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・「どうぶつカード」の作成のために、インターネットで調べたい動物について深く調べる。
- ・Figjamをすることで、情報を整理・分析する力を養う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- | | | |
|-------------------|---------|---------|
| ・Google Classroom | ・Figjam | ・大型提示装置 |
| ・Google スライド | | |

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> Classroomで本時の活動のルーブリックを示す。 Classroomで本時の学習の進め方の確認をする。 <p>めあて 「どうぶつカード」をつくるために、調べたことを整理しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを確認することで、見通しを持つことができる。 自分のペースや習熟度で学習を進めることができる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 水族館で観察した生き物の中から、自分が調べたいと思った生き物について、3つの方法【実際に観察した様子】【図鑑】【インターネット検索】を用いて調べ学習をする。 調べたことを Figjam のカードに書き込む。 作成したカードで「仲間分け」や「写真の挿入」「矢印」を使って、わかりやすくまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時でつまずきがあった児童へは、Classroomに提示している調べ学習のヒントを用いることでサポートすることができる。 見本として作成した【Figjamでまとめたもの】を大型提示装置に映しておくことで、まとめ方がわからない児童にイメージを持たせることができる。 Figjamの機能【ペン】【蛍光ペン】【カード】【画像の挿入】【テキスト】の操作を用いることで、児童が意欲的に活動に取り組むことができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> Figjamで情報を整理したシートをスクリーンショットして、Googleスライドにはりつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題としてスライドに提出することで、児童は前時の情報整理の資料と比べることができ、本時の活動の達成感を得ることができます。

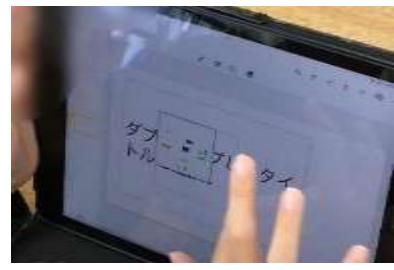
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】Classroomを見ながら、学習の進め方を確認している場面



【写真2】調べたことを Figjam のカードに書き込んでいる場面



【写真3】Figjamで作成したものを Googleスライドに貼り付ける場面

児童生徒の反応や変容

- ・Classroomで「前時のふりかえり」「本時の活動」「評価基準」を示すことで、1人ひとりが主体的に取り組むことができた。
- ・集めた情報をFigjamで整理・分析する操作を通して、「見返したときに、すぐに見てわかるまとめ方はどんなまとめ方だろう?」と自ら考え、工夫してシートを完成させようとする児童の姿が見られた。まとめた情報をもとに、わかりやすい言葉に変換してカードにまとめなおしている児童もいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Classroomに【S・A・B】に分けた評価基準を示すようにしてから、児童が評価基準を意識して主体的に取り組むことができていた。また、Classroomに学習の流れを提示することで本時の学習を進める上でのポイントも同時に伝えることができた。
- ・Figjamは1枚のシートを自由に編集できるため、基本的な操作を教えるだけで、児童が主体的に【整理・分析】に取り組むことができていた。